



杉戸町立東中学校の教育

令和 5 年度



◇第Ⅲ期埼玉県教育振興基本計画から
 ＊基本理念『豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育』
 ＊子どもたちの将来
 社会の変化を正確に予測することが困難なこれからの時代においては、主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて、新たな価値を創造し、人生や社会の未来を切り拓くことのできる力が求められる。

◆ 未来を生き抜く力を育む ◆

学校教育目標

◇令和 5 年度 杉戸町教育行政重点施策
 ＊基本理念『夢を抱き 未来を生き抜く 杉の子教育』
 ・一人一人の学力を伸ばす教育の推進
 ＊施策の重点から
 ・社会の変化に対応する教育の推進
 ・豊かな心をはぐくむ教育の推進
 ・人権を尊重した教育の推進
 ・家庭・地域と一体となった教育の推進

自学

自ら意欲的に学ぶ生徒

『自学』は、学力向上の基本である。学習意欲を引き出し、学び方やコミュニケーション能力の大切さを教え、一人一人の知性を磨くことで、将来を自らの力で生き抜いていくための確かな学力を身につけさせたい。

友愛

思いやりのある生徒

『友愛』は、豊かな心を育むための基本である。一緒に生活する仲間や家族に感謝の気持ちをもって、優しい気持ちで過ごすことの大切さを教えることで、あたたかな思いやりの心と寛容性を大切に育てたい。

鍛錬

心身を鍛えやり抜く生徒

『鍛錬』は、可能性を伸ばすための基本である。定めた目標の達成に向け、磨るぎなく立ち向かっていく強固な心と、その源となる健康な体を育むことで、チャレンジし終えた後の、達成感・充実感・成就感を味わわせたい。

校是 大志



大きな志「こころざし」を抱き、希望に胸をふくらませて進む生徒になってほしい！

《めざす生徒像》

- 『郷土を愛し、夢に向かって粘り強く努力する生徒』
- (1) 自ら学び、未来を切り拓く確かな学力を身に付ける生徒
 - (2) 自他の命を大切に、豊かな人間関係を築ける生徒
 - (3) 自ら心身を鍛え、最後まで粘り強くやり抜く生徒

◇情熱と教育愛に満ちた教職員が集う学校
 理想とする学校
 ◇知性あふれる善良な生徒が集う学校

《令和 5 年度 指導の重点》

「主体的・対話的で深い学び」を軸に、「生き抜く」ための学力を育む指導

「特別の教科 道徳」と特別活動を軸に、「生き抜く」ための豊かな心を育む指導

体力向上と健康教育を軸に、「生き抜く」ための「体（耐）力」を育む指導

《令和 5 年度 学校研究課題》

「自ら学び・共に学び合える生徒の育成」
 ～安心して学べる環境と生徒が主語になる授業デザインの工夫～（2 年次）

自然豊かで穏やかな地域に守られ、素直で純朴な校風が築いてきた、歴史と伝統を継承します。
 将来、自分の生きがいや家族のため、社会に貢献しながら一生懸命働くことができる人材を育てます。

令和 5 年度 指導のキーワード
 「認め・褒め・励ます」指導の実践
 とことん寄り添う東中教職員

《めざす教職員像》

- (1) プロの教職員としての使命感・倫理観を持ち、職務に専念する教職員
- (2) 厳しさと優しさを兼ね備えた教師
- (3) 授業で勝負できる教師
- (4) 協働できる教職員

- (10) 保健・安全・食育指導の充実
 保健管理の充実 安全な自転車通学 食育と健康保持
- (11) 相互理解を育む人権教育の推進
 人権尊重の精神 いじめを許さない 人権問題の理解
- (12) 異文化理解を通して日本文化の理解を深めるグローバル教育の推進
 言語活動の充実 コミュニケーション能力の育成
- (13) 一人一人の自立を育む特別支援教育の推進
 交流教育の積極的推進 きめ細かな指導の継続
- (14) 課題解決能力を開発する総合的な学習の時間の充実
 課題を発見する力・考察し発表（プレゼン）する力の育成
- (15) 生きる力の原動力となる体力向上
 保健体育の授業を核とする主体的な実践力の育成
- (16) 共生社会を生きる福祉・ボランティア教育の充実
 体験学習の定着 パンク修理隊の技術の継承
- (17) 生徒が主体的に活動する部活動の充実
 所属感・連帯感・達成感 人間形成と技能向上と鍛錬
- (18) 生徒一人一人の状況に寄り添った教育相談の充実

《杉戸東中生徒憲章》

「進んで働くこうみんのために」
 ぎ「気持ちを込めた挨拶を」
 と「友達大事に考えます」
 ひ「一つになろう学校行事」
 が「学習は質・計画・週 12 h」
 し「心身ともに鍛えよう」

